

# 学生担当者報10

発行 / 天理教学生担当委員会 発行責任者 / 茶谷良佐 編集責任者 / 辻 雄二郎

発行責任者 / 茶谷良介

編集責任者 / 辻 雄二郎

Vol

Vol.404  
立教183年  
2020年  
9月25日発行

TEL 0743-63-1511(内線5817), 直通:0743-63-2489  
E-mail [tsa@tenrikyo.or.jp](mailto:tsa@tenrikyo.or.jp) TSA Website [http://www.tenrikyo.or.jp](#)

FAX 0743-62-5780  
<https://tsa.tenrikyo.or.jp>



まずは、持論を控えないと

担当者活動部 部長

二回生から四回生までの八十人ほどの大學生に行なつたアンケートによると、約半分の学生が、程度の差こそあれ、「からだ」と「心」の調子を崩したものとことです。からだの調子が崩れた一番の理由としては、あまり外出ができるず、生活リズムが乱れたことなどで、そこから「夜眠れない」「睡眠不足」という学生が結構いました。そして、「お腹を下している」「だるい」など、実際にからだの症状に現れていた学生もいました。心の調子が良くないう理由としては、「課題が多く、勉強について悩んでいる」「友だちや家族に会えず、「一人でいる時間が多いい」「進路（将来）や生活についての不安がある」というのが多く、それ以外にも、

十二%（十人に四人）の人が「友人」と答えていました。ところが、「自分の大学の友人」（二十五・九%）という答えとともに多かったのが、実は「母親」（二十五・九%）という答えでした。十人いれば二～三人は母親に相談しているわけです。友だちにしろ、母親にしろ、相談する理由として大きいのは「相談しやすい、打ちあけやすい」「信頼できる」「自分のことを分かって、真剣に聞いてくれる」ということです。逆に、「父だと持論を持ち掛けてくるから」と、すぐに意見を言う父親を敬遠する傾向が見られます。もちろん信頼でき、話しやすい父親には相談している学生（九・九%）もいます。

わが子に一度、電話をして様子を聞いてみるのもいいかもしません。また、学生一人ひとりを思い浮かべて、その子の無事を祈り、顔を見たら一声掛けることから始めてみてもいいかもしれません。

とにかく親や周りの大人からの優しさが、若い子の心を大きく育てるのだと思います。

人の心養うように、優しいなあと言うは世界の臺。

「つておいでよ」  
わが子に一度、電話をして様子を聞いてみるのもいいかもしません。また、学生一人ひとりを思い浮かべて、その子の無事を祈り、顔を見たら一声掛けることから始めてみてもいいかもしれません。

とにかく親や周りの大人からの優しさが、若い子の心を大きく育てるのだと思ひます。

人の心養うように、優しいなあと言  
うは世界の臺。

「学生に必要なことは、学生の置かれている苦しい状況を理解し、意見する前に、優しい心遣いを掛けることだと思います。」

## 令和2年 学生担当委員会 活動方針 『誠の心で人材の育成につとめよう』

学生担当者報

報告

# 報告

9日 学修部部会

學生層育成者講習会

## 学生層育成者講習会

9月3日 人材育成部部会

※直属委員長面談（10月25日）は、実施いたしました。

19日	事務局連絡会
担当者報チーム会議	担当者活動部部会
委員会	担当者活動部部会
編集部部会	担当者活動部部会
人才育成部部会	担当者活動部部会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とさせていただきます。

18日  
まなひはチリム會議  
勉強会チリム會議

業務記録  
立教 183 年

業務記録

# web Happist

明日につながる学生WEBSITE

<https://happist.net>

## 誠の心で人材の育成につとめよう

### 学生生徒修養会一学修プラス1ー

今年は昨年以上に学修に力を入れていきたい。たとえば、学生への受講呼びかけを今までよりも「もう一工夫」してみる。あるいは、教長や親への働きかけを普段よりも「もう一手間」増やしてみる。そうした一つ一つの「+1」を積み重ねていくことによって、いつもより「+1」の受講者のご守護を目指したい。もちろん、事後の丹精の上にも「+1」を忘れないようにしていきたい。「学修プラス1」を合い言葉に誠の心で頑張りましょう。

### 春の学生おぢばがえりー春学どっと鼓舞ー

学生のときから事あるごとにおぢばに帰らせてもらうことは、ようほくとして成人する上でとても重要なことです。先ずは私たち担当者が、道につながる学生はもちろんのこと、未だおぢばに帰ったことのない学生に対しても、おたすけ心を持って積極的に声をかけ、春学の参加者がどっと（大勢）増えるような御守護を目指したい。そして、春学は、学生自身が自らのおたすけ心を發揮して友だちをおぢばへ誘える絶好の機会でもあるので、学生の自主的な取り組みをサポート「春学どっと鼓舞」を合い言葉に誠の心で頑張りましょう。

2020 10

**web**  
**Happist**

<https://happist.net/>

連載 毎週月曜更新

・教理コーナー

**逸話篇にまなぼう 清水 慶政**（兵神大教会長）

・信仰エッセー

**明日の地図ひろげて 福江 弘一**（周海分教会長）

**駒谷 砂和子**（梅谷大教会長夫人）

※内容は一部変更になる場合があります。



2020  
10.25  
sunday

**Web< Happist >リニューアルします!!**

＼お楽しみに!!/  
デザイン一新  
新コーナーも充実

地元の高校に通っていた次女は、学修に参加するのを泣いて拒んでいたが、いとこが先に参加を決めたことで観念したらしく渋々参加することになった。無事、修了した次女を迎えて東北道PAに向かつた。会うや否や早く帰りたいと涙を流す。相当つらい思いをしたのか、ねぎらいの言葉を掛けたが、それは全く杞憂であった。「早くおぢばに帰りたい」という意味だと告げられ、涙が出るほどぐく思い出す。

教祖百三十年祭の前年、直属担当者の任を引き受けた。翌年の「教祖百三十年祭 学生おぢばがえり大会」では心定めを上回る参加者の御守護を頂き、念願の学生会を立ち上げることもできた。機を逃がさない働き掛けが結果実した句の有り難さをいまさらながら感銘深く思ふ。

中学三年生になる次男。多感な時期に加えて教会に背を向け始めた。それはちょうど私が担当者を次の者にバトンタッチすることが決まって、肩の荷が下りたと喜んでいた頃と重なる。息子への丹精を模索する中、来年の学修参加を夢見て親神様のお導きを祈念し始めた。

このたび担当者としての務めは終わるが、育成活動から心を離さず、目をそらさず、協力することを惜しまずにつらせていただきたい。

東京オリンピック直後の学修開催が今から待ち遠しく楽しみだ。

城山大教会学生担当委員会前委員長 高橋邦之

## 九月例会 委員長挨拶に代えて

虫の鳴き声に秋の訪れを感じている今日このごろですが、気がつけば委員長の御命を頂いて一年がたちました。まさかの新型コロナウイルスの事情から、これまでの慣例となっていた行事を感染拡大防止のためとはいえ、心ならずもほぼ全てが中止となりました。先生方には、立場の上からも大変気苦労をお掛けしていることと思いますが、ご理解いただきありがとうございます。これからは強く踏んでいたブレークを、周囲

の状況を見極めながら少しずつ緩めていければと考えています。  
本日は、例会資料に、「立教百八十四年 学生生徒修養会 大学の部・高校卒業生コースの係員依頼について」と「立教百八十四年 春の学生おぢばがえりについて」を配布させていただきました。「学修」につきましては、現在教会本部とも相談をしており重ね開催の可否について検討しております。また「春学」につきましては、天理教学生会とも何度も話し合については現在検討中でございます。

もう一点は、先月にお配りいたしました、教区・直属委員長面談についてですが、現時点でのお伝えしたい内容もありますが、各教区・直属の現在の状況などを確認しながら今後の動きについても一緒に考えていい内容もあります。各教区・直属の現在の状況などを確認しながら今後のおぢばがえりについて」を配布させていただきました。「学修」につきましては、現在教会本部とも相談をしており重ね開催の可否について検討しております。また「春学」につきましては、天理教学生会とも何度も話し合については現在検討中でございます。

委員長 茶谷 良佐